



自信を胸にステップアップ！

園長 吉羽 優子

昨日、小石川植物園へ遠足に出掛けてきました。まるで春が訪れたかのように、ぼかぼか陽気の空の下、4・5歳児が手をつないで元気よく歩きました。園内では、梅の香りに包まれながら木々のトンネルをくぐったり、園内を探検し、早春の芽吹きを発見したりしました。子どもたちは、散歩や遠足を通して、自然に触れ合う経験を積み重ねることができました。

先月のこども劇場では、幼稚園生活の集大成の姿をご覧になられたと思います。5歳児はみんなで劇のストーリーを考えたり、自分たちで役に合った衣装や大道具・小道具を工夫して作ったりし、オリジナルティーあふれる劇を創り上げて当日を迎えました。自分の役に愛着をもっているからこそ、自然体で表現することができたのではないかと思います。後日、学級で役を変えて劇を行ったのですが、普段から友達セリフや動きをみんなが共有していることで、誰がどの役でもできるのです。そして友達が演じている様子を称賛するうれしい姿がありました。学級や学年の友達と共に心を通わせ、力を合わせて過ごしてきたからこそ強い絆が生まれたのです。保育園から幼稚園まで5年間の生活を通して、生活習慣、人との関わり、遊びに向かう力など、人間形成に必要な基礎が培われてきました。小学生になってもこれらの力を発揮して、様々なことに挑戦し、自己肯定感を育ててほしいと思っています。4歳児も、日頃の遊びを劇の中にふんだんに盛り込んで劇を創ってきたので、緊張感なく表現を楽しむことができました。保護者の方の感想を一部紹介しますと、「あと何回寝たら、見に来てくれる？と楽しみにしているようでした」「『こういう気持ちで演じたんだよ』と演技のポイントを解説してくれ、自分なりに役を解釈して臨んだのだな、と感心しました」「劇をやりきったという達成感と自信が付いたようでした」と、お子さんの成長を実感してくださいました。子どもたちの自信と成長を、間もなく来る春へつなげていきたいと思っています。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様には本園の教育・保育にご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

一年を振り返って

保育長 長下部 佐織

年度末の保護者会では、子どもたちの一年間の成長を保護者の皆さんと共有ができました。それぞれのお子さんの心と体の成長を感じ、4月からの新しいクラスへの進級が楽しみです。今年度は、子どもたちがの主体性を改めて保育者間で考え、保育を行ってきました。クラスだけではなく、異年齢での交流も自然に行われています。これからも、子どもたちの生きる力の基礎が培われる大切な乳幼児期保育の場としての「柳町こどもの森の保育」を教職員一同で、子どもたちの豊かな生活のために考えていきたいと思っています。

一年間様々のご協力、ご理解をいただきましてありがとうございました。

